

絆

赤井むつみ後援会便り第8号

2010年10月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



9月の決算特別委員会終わる！

9月の定例会では、決算特別委員会を設置し、H21年度決算について、協議、決定いたしました。

その結果、一般会計収入（歳入）138億7789万円

一般会計支出（歳出）134億5080万円で、4億2709万円の黒字となりました。しかし、今後、学校の耐震化工事など、大きな支出が考えられるため、3億2000万円は、貯金（基金）することとなりました。今後、人口の減少や国からの補助金の減少により、収入が増えることは望めないのですが、限られた財源を、より効果的に活用し、私たち一人ひとりにとって、安心・安全に過ごせる八雲町となるよう、みんなで知恵を出し合っていきましょう。是非、お気軽にご意見をお聞かせ下さい！

今回の一般質問

今回は、障がいを抱えている方たちと、その保護者の方が、少しでも生きやすさが軽減できるようにと思い、質問させていただきました。

しかし、まだまだ質問の仕方が不十分で、しっかりした心強い答えをいただくことができなかつたので、今後も、勉強を重ねて頑張ります！

『 特別支援教育のより充実した取り組みについて 』

Q、2007年に、改正学校教育法が施行され、現場の先生たちは特別支援教育に、熱心に取り組まれています。そこで、更に充実させるためには、教育委員会の積極的な情報収集としての5歳児検診や、浜松小学校へのスクールバス運行も必要と考えます。また、学校や教育委員会だけではなく、関係機関の連携も必要と思いますが、いかがでしょうか？

A. 児童の状況と、保護者の要望を踏まえて許可している場合もあるが、学校

はあくまでも地域の学校であり、特別支援を充実させるためではない。そういう子を入れることが、地域の方が望まれるかどうかという問題もある。連携については、地域で見守っていくという視点を大切に、昨年発足した連携会議を今年度も引き続き行い、子どもがよい状態で教育を受けられる方向を目指していきたい。

子どもの教育は大変大切なので、町としてもできる限りの政策をとっていく。教育委員会と連携しながら、対応を進めたい。

『 障がいに関する相談窓口の1本化について 』

Q、障がいを抱えた方やその保護者の方が、安心して相談できるように、窓口の1本化を図ると共に、対応する職員の意識も是非1本化し、サービスする側、される側ではなく、互いに支えあえる関係作りが必要と思いますが、どのようにお考えですか？

A、平成22年4月から、シルバープラザ保健福祉課に障がい者福祉係を新たに設置し、1本化して対応している。年齢によっては、住民生活課や学校教育課などでも相談できる体制になっているが、今後は更に職員の横の連携を強化すると共に、質の向上もはかっていきたい。



10月16日（土）午後2時より

公民館にて、すみよいまちづくり講演

会があります。

★テーマ『障がい者が、障がいを感じないで過ごせる』

～ 北欧ノルウエーの福祉を学ぶ ～

★講師 三井 マリ子さん （女性政策研究家）

スライドを中心に話が進められるので、とてもわかりやすいと思います。是非、お誘い合わせの上、ご参加下さい！お待ちしております。

NPO法人「やくも元気村」設立!

八雲町に住む、みんなが、それぞれの力を発揮し、互いに支えあいながら、元気いっぱい過ごすために、NPO法人「やくも元気村」が立ち上がりました。はじめは、障がいのある方も一緒に働ける場所を作る予定で、そこを中心に、子どもたちも、おじいちゃん・おばあちゃんも誰でも気軽に立ち寄って、おしゃべりができる「たまり場」も今後の計画として考えられているとのことです。みんなが楽しく集え、そこでいろいろなパワーが発揮できたらいいですね!

人は誰でも、いろいろな力を持っています。大きな力も小さな力も、みんなの力が集まって、地域が作られています。八雲町にとって、必要の無い人は一人もいません。ですから、是非、みんなで集まって、いろいろなアイデアを出し合い、ワイワイガヤガヤ楽しい毎日を過ごせたらいいですね。

みんなで、大いに支えあいましょう!

1年が経ちました！

昨年の選挙でお世話になってから、1年が経とうとしています。皆様からいただいた、大切な1票を、私は決して無駄にせず、日々努力しているかと問われると、努力はしているのですが、なかなか実を結ばず、成長の後があまり感じられないというのが現状です。

立候補したときに、『ひとりひとりの命を大切にしたい』『笑顔あふれるあたたかい町をめざす』そのために、みなさんと一緒に考え、取り組みたいこととして

- ① 八雲町の農業・漁業のみなさんが元気に働き、安心して後継者にゆずることができる環境
- ② 行政の持つ情報と力、住民が持つ柔軟性をよりよく発揮し、協働のまちづくりができる環境
- ③ 八雲町の大切な財産である子どもたちが、明るく元気で個性豊かに育つ環境
- ④ これまでの日本を築いてくれた高齢者の方が、自分のために思う存分時間が使えるように、安心・安全な環境

の、4つをあげさせていただきました。もちろん全てできているわけではありませんが、個別の相談を受けて対応したり、現状調査を行うなどして、少しずつ前進しています。

また、この1年で全くわからなかった議会や行政の仕組みは、周りの皆さんから教えていただいたり、勉強する中で、少しわかってきました。自分がわかったことは、この会報を通じて、みなさまにお伝えするようにしてきましたが、もっとも大切な、町民の皆様のより多くの声を聞き、町政に反映していくということが、まだまだできていません。これから、2年目になるので、いろいろな機会を生かして、より多くの方と話し合い、皆様の声を町政に反映できるように、更に4つのことがみんなの力で実現できるように、今後も努力していきますので、ご指導・ご助言をよろしくお願いいたします。

何かありましたら、いつでも気軽にお声をかけてくださいね！私だけの力では限界がありますが、専門機関の方と連絡を取ったり、いろいろな方の力もお借りできますので、是非、遠慮なくお申し出下さい！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090 (赤井)